「家庭と病院をつなぐ、脳卒中見守りプロジェクト」に対するご協力のお願い

研究責任者　家田真樹
研究機関名　慶應義塾大学医学部
（所属）　循環器内科

このたび当院では上記の医学系研究を、慶應義塾大学医学部倫理委員会の承認ならびに研究機関の長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施します。

今回の研究では、同意取得が困難な対象となる患者さんへ向けて、情報を公開しております。なおこの研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「８　お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

１　対象となる方

当院循環器内科・神経内科・リハビリテーション科に脳卒中で通院歴のある方
当院循環器内科心臓植込み型電気的デバイス植込み術後の方

２　研究課題名

承認番号　20231045
研究課題名　家庭と病院をつなぐ、脳卒中見守りプロジェクト

３　研究組織

研究代表機関	研究代表者
慶應義塾大学医学部内科学教室 循環器内科	教授　家田真樹

４　本研究の目的、方法

脳卒中は一度発症すれば取り返しがつかない病気です。その後遺症は生涯の生活に支障をきたしてしまいます。脳卒中の原因は生活習慣病による動脈硬化や心臓病であり、複数の診療科が総合して管理する必要があります。また、こうした脳卒中を予防するには、病院受診時の検査データだけではなく、家庭生活をモニタリングし、日々のリスクを管理する必要があります。そこで、本研究では、ウェアラブルデバイスにより家庭生活を見守り、病院のデータと連携することで、脳卒中の新

規発症予防、再発予防のリスク管理の指標を評価致します。

研究では、既存の病院の検査データ、心臓植込み型電気的デバイスデータを統合し、脳卒中ビッグデータを構築し、脳卒中発症・再発のリスクに関する解析を行います。この解析をもとに、ウェアラブルデバイスや家庭用医療機器で収集したヘルスケアデータと統合し、脳卒中リスクを予測する人工知能モデルを構築することを目的としています。

５　協力をお願いする内容

過去の診療録データを使用させていただきますので、追加のご協力はございません。具体的には、循環器内科・神経内科・リハビリテーション科に脳卒中で通院された方の、過去の診療録（年齢、身長、体重、既往歴、家族歴、血液検査、処方、心電図検査、超音波検査、レントゲン検査、CT 検査、MRI 検査、入院歴）、また、循環器内科で心臓植込み型電気的デバイス植込み術を施行された方の、遠隔モニタリングデータを収集させていただきます。

本研究では、別途文書による説明に同意をいただいた通院中の方を対象として、ウェアラブルデバイスの貸し出しと採血によるデータ取得も行います。セキュリティやプライバシーのルールに準拠した医療情報流通基盤として富士通株式会社が提供する Healthy Living Platform という iPhone のアプリケーションで情報を収集します。

アマゾンウェブサービスジャパン株式会社の東京リージョンに設置されたバーチャルプライベートクラウド内のストレージに匿名化したデータを保管するにあたり、MEGAZONE 株式会社、株式会社トライネットにデータ管理を業務委託しています。

解析のため、データは匿名加工した状態で第三者に提供される可能性がありますが、守秘義務や個人情報保護法に基づき、個人情報の提供は致しません。

６　本研究の実施期間

研究実施許可日～2028 年 5 月 31 日

７　外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供は行いません。

８　お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方より試料・情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

実務責任者
所　属：循環器内科
氏　名：木村雄弘
連絡先：03-5843-6703
時　間：病院営業日 8：30 － 16：30

以上